

令和7年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	11	学校名	静岡県立三島南高等学校	校長名	鈴木久美子
------	----	-----	-------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	基本的な生活習慣を身につけ、自覚ある行動が常にできる生徒を育成する。	①「正しい身だしなみ」、「自ら進んで挨拶」「登下校マナー」「三南生として自覚ある行動」ができた生徒 90%以上 ②重大な交通事故ゼロ、生命を考える教育 年1回実施 ③「美化活動に積極的に取り組む」生徒 80%以上	①身だしなみ 99.2% 挨拶 95.4% 自覚ある行動 97.2% ②重大な交通事故0件 命のメッセージ展、交通安全委員による交通安全運動を実施 ③93.9%	①A ②A ③A	①② 身だしなみ、挨拶、交通事故防止、自転車の乗車マナーの交通指導を継続する必要がある。また、「カジュアルデー」の実施を通じて、社会性や自主性を育んだ。 ③ 1年次生全員にトイレ掃除方法の指導を行った。
イ	学習に対して主体的に取り組み、学びを深めようとする生徒を育成する。	①「授業に集中して取り組む」生徒 90%以上 ②「教材や教え方に工夫があり、授業内容が充実」と回答する生徒 80%以上 ③「自主学習をよくしている」生徒 前年度以上 ④「興味、関心、適性、進路に合った文理選択、科目選択ができた」生徒 80%以上 ⑤高大連携学習の機会全年度以上 ⑥一斉読書活動	① 95.4% ② 93.7% ③ 56.8% ④ 93.8% ⑤ 順天堂大学職員による出張授業2回、順天堂大学・日本大学における学修機会を実施 ⑥ 88.3%	①A ②A ③B ④A ⑤A ⑥A	①②教師による工夫により授業に満足感を感じ、学習を大切にしている生徒が多い。 ③ 自主学習を行う生徒は微増にとどまっており、家庭学習の更なる啓発が必要である。 ④ 説明会に加え、資質向上を目指した教職員間の情報共有の機会を増やしたため、きめ細かな指導が可能となった。 ⑤ 校外学修活動の大学講座受講者が増加した。 ⑥ 継続的な取り組みにより、読

様式第3号

		<p>に前向きに取り組んだ生徒 70%以上</p> <p>⑦学校図書館は 利用しやすい と感じている 生徒70%以上</p> <p>⑧受検した検定 の合格率 80%以上</p> <p>⑨英検対策講座 受講者数 前年度以上</p>	<p>⑦ 78.8%</p> <p>⑧ 日本情報処理検定協会 主催情報処理検定2級 66.6%</p> <p>⑨英語検定対策講座 参加者36人 (昨年33人)</p>	<p>⑦A</p> <p>⑧B</p> <p>⑨A</p>	<p>書習慣を身につけさせる。</p> <p>⑦ ウェブ上での蔵書検索システムの導入、配架雑誌の変更等を行った。今後も魅力的な図書館づくりを目指す。</p> <p>⑧ 教育課程変更により週当たりの時間数が減ったため、2級のみ受検した。</p> <p>⑨ 英語検定対策講座へ参加者数を更に増やすよう努める。</p>
ウ	<p>自らの進路や生き方について深く考え、それを実現するための基礎的能力、学力を有する生徒を育成する。</p>	<p>①「進路説明会、ガイダンス、行事が充実している」と回答する生徒80%以上</p> <p>②「進路情報、進路相談が充実している」と回答する生徒80%以上</p> <p>③「自覚探究の活動に興味・関心を持って取り組んでいる」生徒80%以上</p> <p>④「進路指導の研究を深めている」教員80%以上</p> <p>⑤「学習・進路支援に満足している」生徒80%以上</p> <p>⑥「進学指導・講座の内容に満足している」生徒80%以上</p>	<p>① 91.9%</p> <p>② 95.6%</p> <p>③ 83.4%</p> <p>④ 84.8%</p> <p>⑤ 95.4%</p> <p>⑥ 91.9%</p>	<p>①A</p> <p>②A</p> <p>③A</p> <p>④A</p> <p>⑤A</p> <p>⑥A</p>	<p>① 多様な進路に対応できる進路ガイダンスをさらに増やす。</p> <p>② 生徒一人ひとりの進路ニーズに応じた様々な面談を実施している。</p> <p>③ 特に2年次生による評価が上昇した。探究活動と進路を更に結び付けた取組を行う。</p> <p>④ 進路検討会等への積極的な参加を呼び掛ける。</p> <p>⑤ 実態に合わせた内容を検討する。</p> <p>⑥ 3年間を見据え、進路講演会を計画的に実施する。</p>
エ	<p>特別活動や部活動を通して、心身ともに健康で人間性・社会</p>	<p>①「生徒会活動・委員会活動は活発である」と回答する生徒80%以上</p> <p>②「学校行事は充実している」と</p>	<p>① 76.4%</p> <p>② 88.1%</p>	<p>①B</p> <p>②A</p>	<p>① 活発に活動している委員会も見られた。更にすべての生徒が活動に充実感を持てる仕掛けを行う。</p> <p>② 一層の内容の充実を図る。</p>

様式第3号

	性が豊かな生徒を育成する	<p>回答する生徒80%以上</p> <p>③「部活動に充実感を得ている」生徒85%以上</p> <p>④「部活動指導員、外部指導者の指導は役立つ」と回答する教員90%以上</p>	<p>③ 92.7%</p> <p>④ 94.1%</p>	<p>③A</p> <p>④A</p>	<p>③ 実績だけを追い求めるだけでなく、部活動を通じて自己肯定感を高める。</p> <p>④ 顧問と連携した指導が可能となっており、継続申請する。</p>
オ	芸術に関する授業や行事等を通して感性を培い、表現力豊かな生徒を育成する。	<p>①昼休み、放課後の授業発表の実施3回以上</p> <p>②発表会・展示会の観客動員数前年以上</p> <p>③「芸術鑑賞教室の内容に満足している」生徒80%以上</p>	<p>① 3回 美術・書道は常設展示も実施</p> <p>② 来場者昨年より122人(延べ数)増加</p> <p>③ 94.5%</p>	<p>①A</p> <p>②A</p> <p>③A</p>	<p>① 外部機関を含めた発表機会の充実を図る。</p> <p>② 広範囲に案内発送、HP・Cラーニングによる周知などの広報を行った。</p> <p>③ 生の芸術に触れる機会を積極的に創出する。</p>
カ	グローバル・グローバルな視点で考え行動し、社会で活躍できる生徒を育成する。	<p>①「海外研修に関心ある」生徒40%以上</p> <p>②「国際交流に積極的に参加したい」生徒50%以上</p> <p>③「課外活動(部活動やボランティア活動など)において地域と交流・連携した」生徒70%以上</p> <p>④HP更新の推進年300回以上</p> <p>⑤HP各部活動ページ年間3回以上更新</p>	<p>① 46.9%</p> <p>② 48.3%</p> <p>③ 73.1%</p> <p>④ 300回数以上更新</p> <p>⑤ 概ね年3回以上更新</p>	<p>①A</p> <p>②A</p> <p>③A</p> <p>④A</p> <p>⑤A</p>	<p>①②留学生の受け入れや海外研修の全校生徒への報告等を実施した。50%以上を目指し、具体的な取組を検討する。</p> <p>③ 各部活動の取組に加え、地域で生徒が活躍できる機会の情報提供を積極的に行った。</p> <p>④⑤学校全体で役割分担し、各担当へHP更新方法が周知されたため、広く記事が更新された。今後とも計画・分担に沿って更なる充実を図る。</p>
キ	学校運営協議会を通して地域連携を深め、地域課題の解決を目指す	<p>①学校運営協議会年4回実施、活用</p> <p>②地域課題に関連した取組実績前年度以上</p> <p>③「自覚探究の活</p>	<p>① 年間4回実施</p> <p>②教科81.8% 学年100%</p> <p>③83.4%</p>	<p>①A</p> <p>②A</p> <p>③A</p>	<p>① 経営方針や地域課題が共有され、理解と連携が深まった。</p> <p>② 地域課題について各教科で取り扱う機会を増やす。</p> <p>③ 地域探究や社会探究の内容が</p>

様式第3号

	指す教育活動を行う。	動に興味・関心を持って取り組んでいる」 生徒80%以上 ④「PTA活動は参加しやすい（負担が少ない）」と回答する保護者70%以上	④91.2%	④A	職員間に周知され、連携が深まった。また、校内外での活動発表の充実が図られた。 ④ 今後も保護者がより参加しやすい形を模索する。
ク	生徒の健康・安全を第一に考え、安心・安全な学校づくりを徹底する。	①「保健日より」発行月1回 ②検診治療率の向上 前年度以上 ③「悩みに応じてくれる先生がいる」と回答する生徒80%以上 ④生活アンケート実施 年2回以上 ⑤緊急時に保護者との連絡体制が確認できている生徒90%以上 ⑥「防災安全意識の向上」生徒70%以上	① 10回実施 ② 100.0% ③ 92.5% ④ 3回実施 ⑤ 94.7% ⑥ 93.5%	①A ②A ③A ④A ⑤A ⑥A	① 全委員（生徒）が発行を担当した。 ② 要管理生徒の受診徹底を図る。 ③④学校生活アンケートの回答内容を改善し、教職員全体で結果を共有した。 ⑤ 100%の安心・安全な学校を目指し、定期的に確認する。 ⑥ 生徒主導による防災訓練を抜き打ちで実施し、生徒・教職員ともに意識が高まった。
ケ	教職員自ら資質・能力に取り組むとともに、学校組織の活性化を図る。	①相互授業参観期間 年2回 ②「主体的・対話的で深い学び等工夫した授業を実践している」教員100% ③「授業に探究的活動の場面を設定している」教員100% ④「ICT活用力の向上に取り組んでいる」教員100% ⑤「風通しの良い職場環境」と回答する職員80%以上	① 年2回実施 ② 96.9% ③ 97.1% ④ 87.9% ⑤ 84.8%	①A ②A ③A ④B ⑤A	①②③④ 「効果的なICT活用による授業改善」「業務削減、見直しに関する研修」「探究授業の在り方」「情報セキュリティ研修」「特別支援教育伝達講習」など組織的に資質向上、活性化に努めた。 ⑤ 各教職員がTPOをわきまえ、相互のコミュニケーションを深めることにより協力体制を強める。

様式第3号

コ	<p>教職員の多忙解消のため、業務改善を推進しつつ、事務を適正かつ効率的に執行する。</p>	<p>①各教科、学年、分掌における「業務改善・削減のための取組」 1件以上</p> <p>②定時退勤日、最終退勤時刻の設定と実施</p> <p>③適切な部活動時間と休養日の設定と実施</p> <p>④対応クレーム件数 ゼロ</p> <p>⑤「施設が整備されている」と回答する生徒80%以上</p>	<p>① 教科 70.0%、学年 100% 分掌 71.4%</p> <p>② 定時退勤日水曜 毎月の最終退勤時刻が昨年度より早まった。</p> <p>③ 100%</p> <p>④ 0件</p> <p>⑤ 95.8%</p>	<p>① B</p> <p>② A</p> <p>③ A</p> <p>④ B</p> <p>⑤ A</p>	<p>① 業務改善・削減に向けた職員研修を実施し、常に改革意識を持って業務に取り組んでいる。</p> <p>② 一定時刻に職員へ退勤を呼び掛けている。定時退勤への意識向上を図るよう取り組む。</p> <p>③ 年間計画を作成し、生徒・保護者に周知して実施している。</p> <p>④ 電話や窓口等において、わかりやすく丁寧な対応を継続する。</p> <p>⑤ 修繕等を迅速に対応し、教育環境の維持に努めた。</p>
---	------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------